



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9063 URL https://www.okaken.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安原 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 若狭 慎一 TEL 086-252-2114
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,159	0.0	1,330	△3.3	1,420	△2.1	1,060	10.8
28年3月期第3四半期	30,159	△1.2	1,376	65.2	1,450	67.0	956	65.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,335百万円 (40.6%) 28年3月期第3四半期 950百万円 (20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	51.56	—
28年3月期第3四半期	46.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	41,897	13,476	32.1	659.35
28年3月期	40,545	12,303	30.3	594.31

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 13,444百万円 28年3月期 12,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,100	0.2	1,660	5.4	1,710	2.1	1,120	1.0	54.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	22,000,000株	28年3月期	22,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,610,304株	28年3月期	1,350,422株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	20,557,389株	28年3月期3Q	20,651,830株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国の経済は、雇用改善や企業の設備投資の持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等により、依然として先行き不透明な状況でありました。

輸送業界におきましても、国内総輸送量の減少や人手不足、長時間労働の抑制など厳しい経営環境下でありました。

このような状況のもと、当社グループは、今年の会社目標を「人材の育成と安全輸送の確立」と決め、より良い人材の確保と育成を進め、お客様の期待に応えられる体制を作ると共にお客様に満足していただける安全・安心な輸送を目指して取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は301億5千9百万円(前年同四半期比0.0%増)となり、営業利益は13億3千万円(前年同四半期比3.3%減)、経常利益は14億2千万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の計上等により10億6千万円(前年同四半期比10.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、運送需要の持ち直しの動きが弱く貨物取扱量はほぼ前年並みとなりましたが、営業活動の強化とともに適正運賃収受に取り組んだ結果、営業収益は289億2千8百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。営業利益は、原油価格の下落に伴う燃油費の減少はあったものの、外注費(備車料)の増加等により12億3百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売価格の下落及び販売量の減少等により営業収益は7億9千6百万円(前年同四半期比12.8%減)となり、営業損失は6百万円(前年同四半期比1千6百万円の減益)となりました。

③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は4億3千4百万円(前年同四半期比12.0%増)となり、営業利益は1億5百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は418億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5千1百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加などにより流動資産が12億2百万円増加し、投資有価証券の増加などにより固定資産が1億4千8百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、284億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千8百万円の増加となりました。これは、短期借入金の減少及び長期借入金の増加(主にシンジケートローンの契約終了に伴う返済及び新規借入)等により、流動負債が20億円減少し固定負債が21億7千8百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、134億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億7千3百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、設備投資の回復にやや足踏みがみられるものの、雇用情勢や個人所得の持続的な上昇等もあり、景気は緩やかな回復基調で推移するものと予想されます。

当業界におきましては、輸送量問題、原油価格の動向、ドライバー不足、労働時間の問題等、更なるコストの増加が懸念されるなど、厳しい経営環境が続くものと思われれます。

こうした中、当社グループでは、お客様に満足していただける輸送サービスの向上を目指すとともに適正運賃の収受にもご理解いただき収益の確保と業績の改善に努める所存であります。

通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月10日公表時からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,643,336	5,474,946
受取手形及び営業未収入金	6,777,199	7,125,286
たな卸資産	117,285	138,719
その他	473,378	476,003
貸倒引当金	△13,408	△14,221
流動資産合計	11,997,792	13,200,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,428,842	7,129,399
車両運搬具(純額)	1,495,805	1,546,640
土地	15,701,053	15,697,355
その他(純額)	247,831	253,546
有形固定資産合計	24,873,532	24,626,941
無形固定資産	542,426	613,288
投資その他の資産		
投資有価証券	2,698,970	3,035,042
その他	450,107	438,674
貸倒引当金	△16,912	△16,863
投資その他の資産合計	3,132,166	3,456,852
固定資産合計	28,548,125	28,697,083
資産合計	40,545,917	41,897,818
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,608,663	2,878,397
短期借入金	10,382,569	8,080,865
未払法人税等	411,045	235,572
賞与引当金	268,993	4,200
その他	2,247,528	2,719,054
流動負債合計	15,918,799	13,918,089
固定負債		
長期借入金	8,289,789	10,289,107
役員退職慰労引当金	131,644	137,689
退職給付に係る負債	2,960,811	2,973,920
資産除去債務	99,594	101,057
その他	842,230	1,001,233
固定負債合計	12,324,069	14,503,007
負債合計	28,242,869	28,421,097

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,761,954	1,761,954
利益剰余金	8,010,780	8,967,548
自己株式	△208,669	△265,723
株主資本合計	11,984,665	12,884,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,586	654,881
退職給付に係る調整累計額	△148,909	△95,203
その他の包括利益累計額合計	287,677	559,678
非支配株主持分	30,705	32,664
純資産合計	12,303,048	13,476,721
負債純資産合計	40,545,917	41,897,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	30,159,161	30,159,613
営業原価	27,715,560	27,663,165
営業総利益	2,443,600	2,496,448
販売費及び一般管理費	1,067,116	1,165,865
営業利益	1,376,484	1,330,582
営業外収益		
受取利息	423	56
受取配当金	33,595	32,217
受取賃貸料	139,993	130,271
持分法による投資利益	54,416	53,198
その他	55,255	80,236
営業外収益合計	283,684	295,980
営業外費用		
支払利息	206,807	181,968
その他	2,550	23,687
営業外費用合計	209,358	205,656
経常利益	1,450,811	1,420,907
特別利益		
固定資産売却益	73,964	270,300
特別利益合計	73,964	270,300
特別損失		
固定資産売却損	489	8,517
投資有価証券売却損	—	668
投資有価証券評価損	1,470	297
ゴルフ会員権評価損	—	2,100
特別損失合計	1,959	11,583
税金等調整前四半期純利益	1,522,816	1,679,624
法人税、住民税及び事業税	484,016	506,637
法人税等調整額	78,545	109,012
法人税等合計	562,561	615,650
四半期純利益	960,254	1,063,974
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,317	3,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	956,937	1,060,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	960,254	1,063,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,220	218,294
退職給付に係る調整額	29,000	53,706
その他の包括利益合計	△10,220	272,000
四半期包括利益	950,034	1,335,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	946,717	1,332,016
非支配株主に係る四半期包括利益	3,317	3,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	28,857,988	913,037	29,771,025	388,135	30,159,161	—	30,159,161
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	20,167	1,694,746	1,714,914	864,957	2,579,871	(2,579,871)	—
計	28,878,155	2,607,784	31,485,939	1,253,092	32,739,032	(2,579,871)	30,159,161
セグメント利益	1,242,092	10,106	1,252,198	96,218	1,348,417	28,067	1,376,484

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額28,067千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	28,928,535	796,232	29,724,768	434,845	30,159,613	—	30,159,613
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	24,307	1,452,273	1,476,580	888,223	2,364,804	(2,364,804)	—
計	28,952,843	2,248,505	31,201,348	1,323,068	32,524,417	(2,364,804)	30,159,613
セグメント利益 又は損失(△)	1,203,244	△6,732	1,196,512	105,160	1,301,672	28,910	1,330,582

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額28,910千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。